

## 1 活用する力の育成を意図した本時の展開

※昨年度（平成23年度）の研究授業のKJ法による授業整理会で改善点や授業構成のキーワードとして出された意見を□に記述。

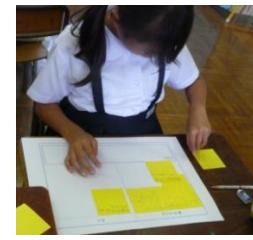
	児童の動き	教師の手立て
事前	○予習：自分の考えを持って授業に臨む	○教材分析：例示・手本・見本を
つかむ	<p>○課題を知る            ・既習と本時との相違に気づく            (課題をつくる・確認する)</p> <p>・本時に関連づける既習を思いつく            見通し・解決の方向性をもつ</p> <p>↓</p> <p>○自力解決する            ・既習と関連づける</p> <p>・自としてノートに自分の考えを表現            「考えて書く」「書きながら考える」</p> <p>友だちに伝える工夫 (いろいろな方法で)</p> <p>↓</p> <p>○自分の考えを伝える 友だちの考えを聞く</p> <p>▼</p> <p><b>相手意識を持つ</b></p> <p><b>黒板に書きながら</b></p> <p>・既習が明確になる            ・マークでよい考えをメモ            ・自分の考えを修正・補足</p> <p>・共通点、相違点、きまりで比較・分類・整理</p> <p>↓</p> <p>・話し言葉と書き言葉の区別。            ・筋道を立てて説明する。</p> <p>よりよい考えに到達</p> <p>有効性を確認</p> <p>考え方を広げる</p>	<p>○既習を活かす場を意図的に設定した課題の提示            ・「既習を活かせないか」の問い合わせ            ・既習を想起させる掲示物・具体物・キーワード            ・既習をふりかえることができるノート指導            ・既習にたちかえる児童の発言のとりあげ</p> <p>・興味を持たせる工夫をする。</p> <p>○机間指導時に、ノート等に表れた児童の考えをみとる</p> <p>○ノート指導            ・思考の過程がわかる書き方や書く内容を明確に示す</p> <p>・発問を工夫する。            子どものつぶやきを拾い、ゆさぶる発問            ねらいにせまる切り返しの発問            考えて深めさせるための発問</p> <p>瞬時に子どもの発言を受け止める構成力</p> <p>○学び合いの進め方を構想            (とりあげ方、指名のしかた、ペア学習導入の有無を学習状況に応じて判断する)</p> <p>○学びが共有されるようコーディネートする</p> <p>・ネームプレートでの位置づけ            ・とりあげ方の工夫            ・意図的に指名            ・ペア、グループ学習の導入            ・友だちの言葉・式・図などを読み取ったり、解釈したりする活動の重視            低キーワードを明確に            由課題に戻って収束に            高児童が自ら整理できたという充実感がもてるようコーディネート</p> <p>○心のフォロー            しっかり見取る            →褒める・認める            誤答を生かす            言えない子へのフォロー</p> <p>○板書力をつける            思考が見える（視覚化）            ・子どもの考え（意見）のまとめ方            ・キーワードの提示のしかた            ・ネームプレートの使い方</p> <p>○どんな既習を活かして解決できたのかを意識させる            ・家庭学習や自学につなげる工夫</p>
まとめる	<p>○黒板やノートで 本時をふりかえる            既習を活かすよさや友だちと学び合うこと            のよさを感得</p> <p><b>キーワードを見つける力</b></p> <p>ここまでで35分を意識しよう！</p> <p>○演習の場            「分かった」から「使える」へ</p>	

## 2 考えの根拠や筋道を明確にして書くために

- ① 毎日「書く」という活動を授業に取り入れる。(シールやハンコなど認め方を工夫し、意欲を高める。)

課題づくりの場 … 子どもとともにつくる。

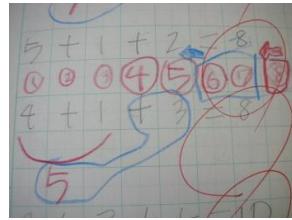
・興味を持たせる工夫をする。  
教育機器・付箋・写真



自力解決の場

… ノートに書く時間を大切に (早く書けたら、違う考えはないか)  
言葉 (文字) だけでなく、図・表・グラフ・記号等、教科に応じた適切な表現を用いる。

分からない、困ったこと  
などもノートに書く。



学び合いの場

… 考えの根拠を説明するために必要な言葉を意識させる。(チョークで色わけして)

(低) 何が大切なのか、同じところと違うところは何かを、しっかり聞く。

(中) 話し合いで分かった大切なところを写す。

(高) 黒板に書きながら説明する。

説明を聞きながら、必要に応じて大切な言葉 (キーワード) をノートに  
書いていく。

キーワードを見つける力  
をつけていく。



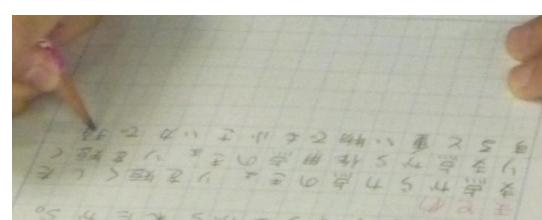
まとめの場

… どの子も達成感が持てるよう、書き方の例を示してまとめさせる。

(低) 大切な言葉を穴うめしてまとめる。

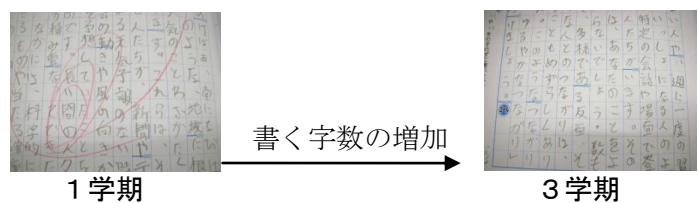
(中) 黒板に書いてあるキーワードをつなげてまとめる。

(高) 大切な言葉は何かを考えて、自分でまとめる。



- ② スキルタイムに、書くスピードをつける。(速く、美しく)

「うつしまるくん」「名文スキル」の活用



## 3 多様な観点から思考・判断し学び合いをするために

- ① 1日1回は発言できるような課題や問題を与える。(児童は「1時間に1回の発言」をめあてにする)

- ・ペア学習やグループ学習で話す場を (ペアやグループの作り方の工夫・雰囲気づくり)
- ・目的意識をもたせて (だれに、何のため、声の大きさは)
- ・間違いを生かした授業を (間違いのおかげだよ)

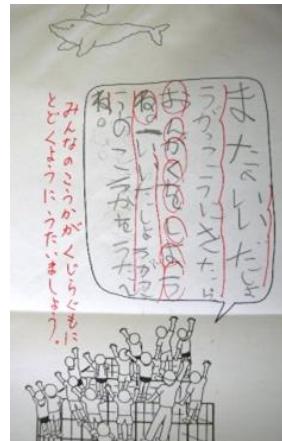
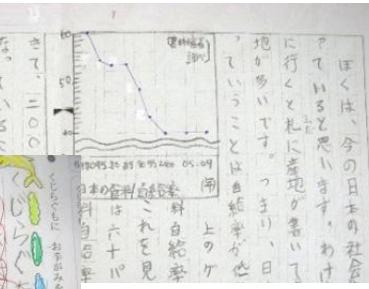
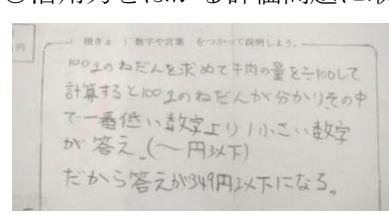
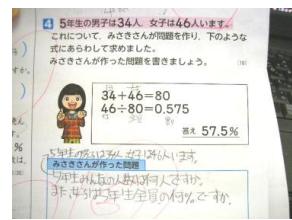
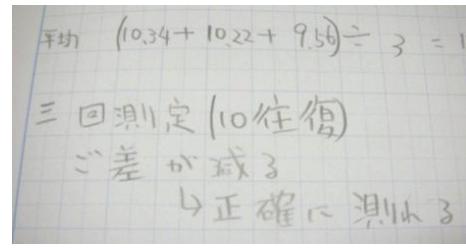
よい人間関係を作っていく。



- ② 「聞く力」をつけるために

- ・「納得したこと」「疑問に思ったこと」「聞いてみたいこと」を明らかにして聞く。
- ・自己との対話をしながら聞く。
- ・聞くための目的意識を持たせる。

## 4 学び合ったことを使える学力にするために

国語	算数
<p>○学び合ったことを短文でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワードをうめて</li> <li>・キーワードをつなげて</li> <li>・制限された字数で</li> </ul> <p>○学習感想を○行で書く。</p> <p>○ふきだしに書く。</p> <p>○要点を書く。</p> 	<p>○適用問題をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したものと同じ形式で解けるもの</li> </ul> <p>○発展問題をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したものを使うが、形式が変化したもの</li> </ul> <p>○友だちの考え方を使って解く。</p> <p>○第1課題をして、第2課題をする。</p> <p>○早く、簡単に、正確に、どんな場合も使える方法を見つける。</p>
<p>○友だちの書いた文を推敲する。</p> <p>○メモから話し言葉へ、そして書き言葉へと直す。</p> <p>○書き言葉からメモへ、そして話し言葉へと直す。</p>	<p>○問題を作る。</p> 
<p>○意見文を書く。</p> <p>○お手紙を書く。</p> <p>○お話の続きを書く。</p> 	<p>○条件過多、条件不足の問題に取り組む。</p> <p>○複数の資料を関連づけて説明する。</p> <p>○根拠を説明する。</p> <p>○根拠を書く。</p> <p>○県・全国の学力テストの問題に取り組む。</p> <p>○活用力をはかる評価問題に取り組む。</p>  
<p>○レポート・パンフレット・ポスターでまとめる。</p> <p>○スピーチをする。</p> <p>○音読発表会をする。</p> <p>○他教材を提示し、学んだことを活用して課題に取り組む。</p> <p>○県・全国の学力テストの問題に取り組む。</p> <p>○活用力をはかる評価問題に取り組む。</p>	<p>○社会の資料の読み取りに生かす。</p> <p>○理科で実験結果を考察する時に生かす。</p> 
<p>○日常的に書く機会をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日記 (事実を1行、感想を1行の日記など)</li> <li>・記録文 (生活科や理科での観察記録・実験記録 社会科での見学記録など)</li> <li>・新聞記事(投稿文等)を読み、 内容をまとめる。</li> <li>・新聞記事(投稿文等)を読み、 自分の意見を書く</li> </ul> 	<p>○委員会などの活動で生かす。</p>